

◆ **ゼミナールの研究テーマ**

市場経済社会の特質を「経済学の歴史的知見」にもとづいて把握する。

◆ **研究内容**

＜外国書研究＞

経済思想の歴史を俯瞰すべく、比較的読みやすい英文のテキストを精読する。毎回3名ぐらいを目安にあらかじめ割り当てた箇所を和訳してもらい、その内容を出席者全員で検討する。

＜卒業論文・3年次＞

論文を書く際を守るべきルール、報告・文献探索の仕方等を、定評あるガイドブックに依拠しつつ学ぶ。また、ゼミ生が2人1組となってそれぞれチームをつくり、ゼミの共通テーマ「経済思想の視点から消費社会の歴史的形成をとらえる」に関連するテキストを自分たちで選び、レジュメの作成と報告とをペアーで行ってもらおう。

＜卒業論文・4年次＞

卒業論文の素材となるレジュメの個人報告を中心にすすめる。20000字以上の卒業論文を完成させ、「ゼミナール論文集」としてまとめることが最終目標。

◆ **応募学生に対する希望**

現実の人間との対話だけでなく書物のなかで過去の人間と真摯に対話しようとする学生を望む。

◆ **成績評価方法**

卒業論文：演習への貢献度、レジュメ作成の熟達度、積極的な意見発表の有無などを評価軸として総合的に評価する

外国書研究Ⅰ：演習への貢献度、期末テストにもとづいて評価する

外国書研究Ⅱ：演習への貢献度、期末テストにもとづいて評価する

研究分野…英仏古典派経済思想

募集人数…10名前後

試験方法…筆記試験と面接

学科指定…なし

関連パッケージ…なし

関連科目…近代経済学史

◆ **ゼミナールの研究テーマ**

【社会学+社会調査】自分で見つけた問題について、調査し、分析していく。

◆ **研究内容**

## &lt;外国書研究&gt;

社会調査法・方法論に関するテキストを輪読していく。2023年度は Jeffrey C. Dixon, Royce A. Singleton JR, Bruce C. Straits, 2022, *The Process of Social Research (3rd edition)*, Oxford University Press をテキストとして採用した。このテキストを通じて、卒業論文の研究計画の立て方や各調査法（インタビュー、フィールドワーク、質問紙調査など）の長所や短所をおさえていく。

## &lt;卒業論文・3年次&gt;

春学期は、社会学の論文（日本語）を読みながら、論文の型や社会学の考え方を学んでいく。そのなかでさまざまな社会問題にふれてほしい。2023年度は、女性同性愛言説の歴史的変容、小学校受験、親の離婚が子どもに与える影響、履歴書の顔写真と採用などをテーマとする論文を扱った。

秋学期は、ゼミ生がそれぞれ「〇〇の社会学」という講義を計画する。学生自らが作成した教案に基づいて、担当者が60分間講義を行う。過去の講義タイトルは、「ジェンダーの社会学」「教育格差の社会学」「ルッキズムの社会学」「自粛の社会学」など。ゼミ生が各自卒業論文と関連しそうなテーマで講義を計画・実施する。

また2023年度は、社会学に初めてふれる人も多いため、出口剛司、2022、『大学4年間の社会学が10時間でざっと学べる』角川文庫を少しずつ読んでいった。

## &lt;卒業論文・4年次&gt;

卒業論文について、定期的に報告してもらう。最終的に卒業論文を完成させる（本当に大切）。

## &lt;卒業論文例&gt;

2023年度の4年生が取り組んでいるテーマを紹介します。メディアにおけるヤングケアラーの表象、社会経済的地位と教育格差、コロナ禍における音楽活動の自粛、学習意欲と教育達成、男性ファッション誌からみる男性性の変容、インタビューから考える男性の育児休業、美的労働、不倫の社会的制裁におけるジェンダー差、パワーハラスメント、就職活動における体育会神話などです。

◆ **応募学生に対する希望**

本ゼミの特徴は「少人数」「卒業論文への着手が早い（その割に卒論の提出がギリギリになる学生が多い（苦笑））」「ゼミができてから日が浅い」です。こういった特徴を長所として捉えてくれる人とは相性がよいと思います。また社会問題で卒業論文を書きたいテーマがある、もしくはいろんな社会問題に関心があるという人を歓迎します。

そして今、直面している社会の現状がいかんじつにつくられてきたのか、それがどのように維持されているのか、それにかわる選択肢はないのかというふうに考えてくれる学生も希望します。もちろんこれからこういった考え方を身につけたい学生もどうぞ。

◆ **成績評価方法**

卒業論文：演習への参加、卒業論文に関する報告と卒業論文による総合評価

外国書研究Ⅰ：演習への参加と報告と課題

外国書研究Ⅱ：演習への参加と報告と課題

研究分野…歴史からみる日本社会の人口と家族に関する研究

募集人数…8～10名前後

試験方法…エントリーシートと面接（対面もしくはZoomによる）

学科指定…なし

関連パッケージ…c 社会学系、d 国際経済系、f 総合経済政策系、h 地域コミュニティ系、j 日本・アジア文化系

関連科目…人口学、社会調査法、フィールドワーク論、統計学、ICT 統計解析など

## ◆ ゼミナールの研究テーマ

19世紀ヨーロッパの近代社会思想を研究しています。産業革命とフランス革命を経たこの時代は、貧困や失業など「社会問題」に対処するために、社会の原理として科学と産業に基づく社会組織思想がキリスト教に代わって登場しました。ここから多くの社会学や社会主義の思想が生まれましたが、その思想は単に経済的な豊かさだけでなく、精神的な道徳や宗教の重要性も説くもので、特に現代の社会倫理の問題に通ずるこの後者の面に光を当てながら研究しています。

## ◆ 研究内容

ゼミの内容は、基本的には毎年ゼミ員の問題関心に依拠して決めている。昨年度は、19世紀の自由主義思想と現代というテーマで、J・S・ミルの『自由論』やニーチェを題材に人間の自由意志の問題や社会と個人の自由の限界について学んできた。そのほか学生の関心に依拠して、宗教問題や環境問題といった哲学・倫理的な問いを含めて、一緒に考えていきたい。

## &lt;外国書研究&gt;

去年に引き続き、19世紀フランスの社会思想家 A・コントと J・S・ミルの思想史研究を輪読する。授業では昨年までの内容を補足しながら、それぞれ社会学と自由主義の思想を生んだ二人の思想家の分岐点を経済学批判と功利主義から読み解いていく。

Mary PICKERING, *Auguste Comte : An Intellectual Biography, Volume I*, Cambridge University Press, 1993

## &lt;卒業論文・3年次&gt;

3年次の合宿までに卒業論文のテーマと研究計画について発表してもらおう。それまでにゼミ員同士のディスカッションを通じて各自のテーマを決定し、その問題点を洗い出していく。

## &lt;卒業論文・4年次&gt;

4年次の夏休み前までに論文の概要を各自報告し、夏休みを執筆に充て、秋以降に研究論文に相応しい内容に仕上げる。

## &lt;卒業論文例&gt;

「ロバート・オウエンとディヴィッド・リカードウ：協同主義と市場主義」

「経済"成長"と経済"発展"：統合された用語」

「マックス・ウェーバーと資本主義の根源：禁欲と欲望を巡って」

## ◆ 応募学生に対する希望

経済思想・哲学、宗教・文学等の幅広い問題関心と他者に対する豊かな想像力のある学生歓迎。

## ◆ 成績評価方法

卒業論文：テーマに対する問題意識と論文の完成度によって総合的に評価する。

外国書研究・原典研究Ⅰ：平常点（原典講読の予習とゼミへの貢献度）によって評価する。

外国書研究・原典研究Ⅱ：平常点（原典講読の予習とゼミへの貢献度）によって評価する。

研究分野…19世紀フランスの実証主義・産業主義の社会思想

募集人数…10名程度

試験方法…面接および筆記試験

学科指定…無し

関連パッケージ…総合経済政策系、社会学系、ヨーロッパ文化系

関連科目…経済思想、経済学史、政治学説史、協同組合学

## ◆ ゼミナールの研究テーマ

アダム・スミス、カール・マルクス、ジョン・メイナード・ケインズなど過去の偉大な経済学者たちの思想と学説に習熟することを通じて、現代の経済社会が抱える諸問題（たとえば格差、失業、貧困など）を重層的かつ複眼的な視座から捉えることのできる力を養う。

## ◆ 研究内容

## &lt;外国書研究&gt;

経済思想の歴史に関する基本的な英語文献、あるいは個別のトピック（たとえば企業家論、株式会社論など）に焦点を定めた専門的な英語論文を輪読する。文献の性質上、授業では多読よりも精読を重視する。

## &lt;卒業論文・3年次&gt;

ガルブレイス著『経済学の歴史』、ハイルブローナー著『入門 経済思想史』など過去の経済思想を生き生きとした筆致で描いた定評のある概説書を読み、その内容要約と発表、さらには討論を通じて多様な経済学説に習熟していく。概説書を通じて主要な経済思想を一通り押さえた後は、スミス、ケインズなど特定の人物に関する経済思想をさらに深く学んでいくか、もしくは産業革命、世界恐慌など経済思想とも密接に関連するテーマを選定し、それについて書かれた論文および著書を輪読する。

## &lt;卒業論文・4年次&gt;

ゼミ生の問題関心にもとづいてテーマを設定し、中間報告を繰り返しながら卒業論文の完成を目指す。「経済思想」および「経済」や「思想」・「歴史」に関連する、多様なテーマを歓迎したい。

## &lt;卒業論文例&gt;

「アダム・スミスから見る転売問題」、「保護貿易の再評価 — リストとトッドの言説を中心として」、「持続可能な社会における経済活動のあり方 — 『資本論』後のマルクスの経済思想を手がかりにして」、「宇沢弘文の「社会的共通資本」から見る環境」、など。

## ◆ 応募学生に対する希望

歴史や思想に関心のある、本を読むことが好きな学生を希望する。課題図書の要約・発表と卒論の作成には真摯に、粘り強く向き合うこと。無断欠席は厳禁とする。

## ◆ 成績評価方法

卒論：平常点（出席状況と発表）と卒論による総合評価

外書研究Ⅰ：平常点（出席状況と発表）とレポートによる総合評価

外書研究Ⅱ：平常点（出席状況と発表）とレポートによる総合評価

研究分野…世界恐慌期の経済政策思想、19世紀から20世紀のドイツ語圏を中心とした経済思想

募集人数…10名程度

試験方法…身上書にもとづく面接

学科指定…なし

関連パッケージ…d 国際経済系、e 財政・金融系、k ヨーロッパ文化系

関連科目…経済学史、近代経済学史

## ◆ ゼミナールの研究テーマ

「欧米資本主義経済の歴史と現状」

米国を中心とする欧米資本主義経済の歴史と現状に関する最新のトピックスを研究対象として取り上げ、それらの内容に関するプレゼンテーションとグループ・ディスカッションを通して、国際社会の歴史的ダイナミズムの解明を目指す。同時に、パラフレーズとコミュニケーションの能力を高めるとともに、卒業論文の作成に必要なスキルを獲得する。卒業研究テーマの設定については、欧米経済の周辺領域を含めて可能な限り自主性を重んじる。

## ◆ 研究内容

## &lt;外国書研究&gt;

代表的なテキストや作品を使用し、英文読解能力の向上を図るとともに、欧米資本主義経済の歴史と現状に関する基礎知識を修得し、また現代社会に対する問題意識を研ぎ澄ます。これらの作業を通して、ゼミ生はそれぞれの卒業研究テーマを探索し、かつ周辺領域についての理解を深める。Hugh Rockoff, *America's Economic Way of War: War and the US Economy from the Spanish-American War to the Persian Gulf War*, Cambridge University Press, 2012; *Wall Street Journal*; Vittorio Valli, *The American Economy from Roosevelt to Trump*, 2018など。

## &lt;卒業論文・3年次&gt;

欧米資本主義経済の歴史と現状に関する理解を深めることを目的とする。最新の文献（『現代アメリカ経済史—「問題大国の出現」—』、『米国経済白書』など）を素材に、ゼミ生は毎回のプレゼンテーションを通して内容の理解とパラフレーズの技術を高める。この間、卒業論文テーマの設定、文献検索、資料の収集と分析手法などについて指導する。また、卒業論文中間報告のための「ゼミ合宿」などを行なう。

## &lt;卒業論文・4年次&gt;

ゼミ生は卒業研究に関するテーマを設定して、中間報告（ゼミ合宿を含む）を繰り返しながら卒業研究を完成する。その成果は、合宿形式の「卒業論文報告会」で発表する。

## &lt;卒業論文例&gt;

- 「アメリカ移民の経済・財政効果」
- 「開発援助政策の日米比較」
- 「不動産投資信託（REIT）—歴史と現状—」
- 「日本における米軍基地の存在意義」
- 「アメリカのプロスポーツ・ビジネスと独占」

## ◆ 応募学生に対する希望

ゼミ活動への毎回の参加、卒業研究に対する旺盛な意欲が不可欠である。

## ◆ 成績評価方法

- 卒業論文：平常点50%、卒業論文50%
- 外国書研究Ⅰ：プレゼンテーションなどの平常点による
- 外国書研究Ⅱ：プレゼンテーションなどの平常点による

研究分野…欧米資本主義経済の史的展開

募集人数…10名程度

試験方法…課題・身上書提出および面接（オンラインの場合もある）

学科指定…なし

関連パッケージ…国際経済系、国際政治系

関連科目…国際経済史、現代経済史、経済学史、近代経済学史、西洋政治史、現代思想

## ◆ ゼミナールの研究テーマ

グローバル資本主義経済を生きるわれわれにとって、経済大国として世界をリードするアメリカの動向を無視することはできない。GAFAM（グーグル、アップル、フェイスブック（現メタ）、アマゾン、マイクロソフト）に代表されるようにアメリカの IT 企業は世界を席卷し、われわれの生活に深く浸透している。一方でアメリカは環境問題や不法移民の流入、低所得者層の貧困問題など大きな問題を抱えた国でもある。かつて繁栄を築いた製造業や鉄鋼業の凋落はラストベルトの惨状が示している。このように両極端な「光」と「影」を併せ持つアメリカ経済をどのように考えるべきなのか。本ゼミナールでは、アメリカ経済の歴史を紐解きながら、現代のアメリカ経済が抱える諸問題の本質について理解を深めていく。

## ◆ 研究内容

## &lt;外国書研究&gt;

アメリカの経済に関する英語文献を輪読する。昨年度は *Economic Report of the President, 2023* の輪読を行った。

## &lt;卒業論文・3年次&gt;

アメリカ経済史・経営史に関するテキストの輪読やディスカッションを通じて、これまでの研究史の特徴と到達点を学ぶ。最新の研究動向に触れることによって、各々が自らの問題関心に沿った卒業論文のテーマを見つけることを目的とする。昨年は『米国経済白書2022』や『現代アメリカ経済論—新しい独占のひろがり』を輪読してバイデン政権の経済政策について理解を深めた。沖縄の夏合宿では沖縄国際大学の高ゼミと、秋には立命館大学の大橋ゼミとの合同研究会を開催するなど、学外との交流も積極的に行っている。その他、外部講師による講演会やゼミ OBOG 会なども定期的実施している。

## &lt;卒業論文・4年次&gt;

卒業論文を執筆するにあたって必要となるスキル（テーマ設定、先行研究の整理、史料収集、論文の構成）を身につける。定期的に行われる中間報告や夏合宿を行いながら卒業論文の完成を目指す。その成果は「卒業論文報告会」で発表し「卒業論文集」にまとめる。

## &lt;卒業論文例&gt;

『イノベーションとアメリカ起業家精神—なぜアメリカ企業はイノベーションを生み出し続けるのか—』  
 『アメリカにおける富裕層に対する増税の効果と実現可能性に関する考察』  
 『アマゾンの日本におけるロジスティクス戦略』  
 『米国社会の構造的差別—オバマ政権が人種差別の問題に与えた影響を中心に』  
 『イノベーションとアメリカ起業家精神—なぜアメリカ企業はイノベーションを生み出し続けるのか—』  
 『BLM がアメリカ二重経済に与える影響』  
 『シリコンバレーから読み解くハイテク産業クラスターの形成』など。

## ◆ 応募学生に対する希望

私の趣味はバスケットボールですが、この競技で最も重要なのはチームプレーです。ゼミもまた、問題関心を共有する学生と教員とがプレゼンテーションやディスカッションを通じて専門知識を習得し、社会で活躍する人材になるための1つのチームです。お互いに切磋琢磨して学問に取り組む中で、一生の宝となる人間関係を築いて欲しいと思います。学びも遊びも全力投球できる意欲ある学生を歓迎します。ゼミの雰囲気については、下斗米ゼミの HP、Twitter、Instagram で確認して下さい。

## ◆ 成績評価方法

卒業論文：平常点（出欠状況やゼミへの貢献度）と卒業論文の出来によって評価する。  
 外国書研究Ⅰ：平常点（出欠状況やゼミへの貢献度）によって評価する。  
 外国書研究Ⅱ：平常点（出欠状況やゼミへの貢献度）によって評価する。

研究分野…アメリカ経済史研究における移民問題

募集人数…13名程度

試験方法…面接（身上書の提出）

学科指定…なし

関連パッケージ…d（国際経済系） e（財政・金融系） h（地域コミュニティ）

f（総合経済政策系） i（産業社会系） など

関連科目…国際経済史、現代経済史など

◆ **ゼミナールの研究テーマ**

歴史・実証的方法による経済社会の把握と分析

◆ **研究内容**

＜外国書研究＞

経済史・経営史の古典的業績の原典を輪読し、そこから歴史・実証的な研究の方法について学ぶ。

＜卒業論文・3年次＞

経済史・経営史の古典的業績を読み、要約・報告・討論することを通じて、歴史・実証的な研究の方法について学ぶ。また、経済社会上の時事的なテーマについて、歴史・実証的方法を用いて合同でレポートを作成し、プレゼンテーションする。

＜卒業論文・4年次＞

卒業論文作成に必要なとされる諸段階（テーマの設定、先行研究の整理、仮説の設定と方法の検討、資料の収集、論文構成の設定、など）を踏んでゆき、また、そのつど経過を報告する。遅くとも10月には論文執筆に入り、個別の指導・添削を受ける。

＜卒業論文例＞

「米国クラフト・ビール業界の発展とその要因」、「アメリカ・デトロイト市荒廃の要因に関する一考察」、「環境政策と経済発展」、「イギリスの文化産業発展に関する一考察」、「ファストフードの発展に関する考察」、「日本ゲーム業界におけるソーシャルゲーム発展の要因に関する考察」、など。

◆ **応募学生に対する希望**

歴史（過去）を使って社会に対して何かを提案・提言したいと思っている学生の入室を希望します。

◆ **成績評価の方法**

卒業論文：平常点：40%、卒業論文：60%

外国書研究Ⅰ：平常点：80%、課題：20%

外国書研究Ⅱ：平常点：80%、課題：20%

研究分野…経済と環境の関係を中心とした近代イギリス経済史研究

募集人数…10名程度

試験方法…身上書と面接

学科指定…なし

関連パッケージ…d（国際経済系パッケージ）、e（財政・金融系パッケージ）、f（総合経済政策系パッケージ）、g（公行政系パッケージ）、h（地域コミュニティー系パッケージ）、i（産業社会系パッケージ）、など。

関連科目…国際経済史、現代経済史、など。

◆ **ゼミナールの研究テーマ：** 「事件から時代を逆照射する」

ある「事件」が「事件」とされるのは、それが「絶対的に悪いこと」だからではなく、「望ましくない」と、同時代的に広く受け止められたこと」だからでしょう。

「事件」の観察を通じて、社会がどのように変容してきたのか、そこにどれだけの多様性がありうるのか、考えていきます。政治学科や地域行政学科の学生による履修も歓迎します。

◆ **研究内容**

<外国書研究>

Penelope Francks, *The Japanese Consumer*, Cambridge University Press, 2009. を精読する。日本人の衣食住にかかる消費活動の歴史の変遷を、社会状況と対応づけつつ論じる本です。

<卒業論文・3年次>

武田晴人『事件から読みとく日本企業史』の輪読を行う。企業が歴史的にどのような役割を果たしてきた（期待されてきた）のか、多様なステイクホルダーとの関係を軸に論じる本です。

読了後、卒業論文執筆に向けて、各自が分析対象とする「事件」を探し、情報収集を進めます。

<卒論論文・4年次>

3年次に引き続いて各自調査を進め、相互に報告・コメントをしながら研究を進めていく。

<卒業論文例>

例えば、特定の企業の経営破綻や「不正」、労働争議、特定の企業が関わる裁判、汚職事件、あるいは企業に異議を申し立てた市民運動などを分析素材とすることが考えられます。

単に「事件の経緯」を「調べる」に止まらず、「そのような事柄が、そのように事件化したことが、その時代のどのような性格を反映しているか」考察していきます。

◆ **応募学生に対する希望**

- ① 武田『事件から読みとく日本企業史』に強い興味をもっていること。同書あるいは類書（武田『財閥の時代』、同『日本経済の事件簿』など）を手にとって眺め、自分と相性が良さそうかどうか確認しておいてください。
- ② 辞書や事典を引く作業を面倒と受け止めないこと。
- ③ 他者との意見交換に関心をもっていること。

◆ **成績評価方法**

卒業論文：平常点50%、卒業論文50%

外国書研究Ⅰ：平常点による

外国書研究Ⅱ：平常点による

研究分野…近代（あるいは現代）日本における企業と社会との関係

募集人数…6-8名程度（全員が議論に十分コミットできる規模）

試験方法…課題文献についての感想文提出、面接

学科指定…無し

関連パッケージ…c. 社会学系、e. 財政・金融系、f. 総合経済政策系、i. 産業社会系など

関連科目…各種〇〇史、現代日本経済論、現代経済政策、地域産業論、社会保障論、労働経済学など



◆ **ゼミナールの研究テーマ**

グローバル経済における経済政策の形成とその原理に関する研究

◆ **研究内容**

現在のグローバル経済で生じている様々な問題に対応していくためには、我々は、世界経済を富ましめ地球上に住むすべての人々を豊かにする**<富世豊人>**を基本的理念として、確固たる理論的基盤のもとに新しい経済現象を認識・把握するとともに、克服すべき政策課題を明らかにして経済政策の形成と実践を図っていかなければならない。本演習では、上記のテーマのもとで各自が個人研究テーマを選択・決定し、卒業論文としてまとめていくことが課題となる。なお、本ゼミでは、政経学部内の政策関連ゼミナール討論会（MEPS）に参加する予定である。

## &lt;外国書研究&gt; ※使用言語：英語/日本語

日本経済および世界経済における政策諸課題について学ぶため、IMF や OECD のレポートを取り上げて議論していく。本ゼミナールでは交換留学生を積極的に受け入れる予定であり、Wall Street Journal の記事に関する発表やディスカッションも含め、英語で演習を行う。

## &lt;卒業論文・3年次&gt;

卒業論文をまとめていくために必要なく**体系的知識**>としての経済学（経済理論）をしっかりと身につけたうえで、春学期はそれらを現実に応用するテキストを用いながら様々な政策課題について議論していく。秋学期には、各自が卒業論文のテーマを決定するための予備的・基礎的研究報告を行う。また、経済政策の研究に不可欠なく**体験的歴史**>を蓄積していくために、毎週、演習の初めに現実経済に生じている重要な問題を取り上げ、その政策課題および政策対応を検討していく。

## &lt;卒論論文・4年次&gt;

卒業論文をまとめるために、3年次の研究に基づいて個人研究テーマをさらに深く追究し、研究報告を行う。なお、春学期には、ゼミ生全員が毎週1冊の本を読んで発表していく。

## &lt;卒業論文例&gt;

「高等教育機会の不平等の是正」、「デフレ下における金融政策の有効性」、「インバウンド観光振興による観光先進国の実現にむけて」、「日本における今後の外国人労働者政策のあり方」、「日本の長時間労働の解決に向けて」、「女性を幸せにする少子化対策と女性活躍促進政策」、「自治体による少子化対策～婚活段階からの支援～」、「新自由主義思想の分析と展望」、「アフリカにおける国連の開発援助の有効性～Ruhira Millennium Village Project を事例に～」、「新たな仮想通貨の出現と中央銀行デジタル通貨の実現可能性」、「日本における人工知能と技術的失業」、「金融システムによる気候変動への貢献可能性」、「無形資産投資促進による日本企業の生産性向上」、「日本におけるナッジの政策的応用可能性」など。

◆ **応募学生に対する希望**

ゼミナールでの学問研究は決して一人で行うものではありません。積極的に参加して、ゼミ生同士がお互いを磨き合い、知的にも、精神的にも、肉体的にも強く健全でバランスの取れた人間を目指してください。なお、演習では、日常的に経済情報の収集・整理を行う必要があるとともに、積極的に留学生を受け入れていく方針のため、留学生のサポートと英語によるコミュニケーションにも前向きに取り組んでもらいたいと思います。

◆ **成績評価方法（卒業論文、外国書研究Ⅰ・Ⅱのいずれも以下のとおりとする。）**

平常点50%、演習への取り組み（課題・発表など）30%、目標到達度評価20%

研究分野…グローバル経済の分析と経済政策、経済成長理論と経済成長政策に関する研究

募集人数…10～14名程度

試験方法…身上書の事前提出、および面接

学科指定…無し

関連パッケージ…d 国際経済系/e 財政金融系/f 総合経済政策系パッケージ

関連科目…国際経済学、開発経済学、国際経済政策、金融政策、財政政策、現代経済政策

◆ **ゼミナールの研究テーマ**

以下の5点を中心にゼミナールでの学習・研究活動を進める。

1. 実体経済に対する基礎的な理解  
一国の経済を見る上での基礎的な知識や視点を学び、かつそれらの視点や知識を基に自ら経済の現状を理解し、重要なポイントに関して議論を深める。
2. プログラミング言語を使った基礎的なデータ分析手法の習得  
(経済) データ分析に関する基本的な概念の理解とともに、実際にプログラミング言語を使い、データ分析の基礎について学ぶ。
3. 国際経済 (国際貿易) についての理解  
国際経済学の中でも特に国際貿易について、その学術的な蓄積について平易な説明と豊富な実例を含む英文テキストを利用して学習する。
4. 卒業論文の執筆  
学生の興味関心に合わせ、国際経済あるいはそれに関連する分野についてのリサーチを行い、学生の発表・議論を中心とした学生主体の研究活動を通じて卒業論文の執筆を進める。
5. MEPS への参加 (サブゼミ)  
政策提言に関する共同ゼミナール活動である MEPS へ参加する。活動自体は正規のゼミナール時間外に学生主体で行うものである。

◆ **研究内容**

## &lt;外国書研究&gt;

英文テキストを中心に、国際貿易が抱える問題点について学び議論する。

使用テキスト：Douglas, Irwin (2020), *Free Trade Under Fire Fifth Edition*, Princeton University Press, Princeton

## &lt;卒業論文・3年次&gt;

- ・実体経済を捉えるための指標やデータなどの基礎的な知識を身に付ける。  
使用テキスト：三上真寛 (2022) 『景気把握のためのビジネス・エコノミクス』学文社
- ・プログラミング言語を利用し、基礎的な経済データ分析の手法について実際にコードを書きながら学ぶ。  
使用テキスト：原泰史 (2021) 『Python による経済・経営分析のためのデータサイエンス分析の基礎から因果推論まで』東京図書

## &lt;卒業論文・4年次&gt;

春学期では卒業論文の本格的な執筆に向けたテーマの予備的リサーチ (背景や先行研究をまとめ、論点の整理など) と絞り込みを行い、ゼミナール内で報告する。秋学期以降は卒業論文の執筆過程を発表しゼミナール内で議論することで、より質の高い論文の執筆を目指す。

## &lt;卒業論文例&gt;

「サブスクリプションは本当に悪なのか」「マルチエージェントシミュレーションを用いたセルフレジにおけるレジ待ち分析」「債権回収率の国際比較とリスク評価」「国内キャッシュレス決済比率増加に向けた政策提言」

◆ **応募学生に対する希望**

ゼミナールや関連活動に対して十分に熱意を持ち、時間と労力を割く決心のある学生であること。入室後にゼミナール内で設ける (常識的な) ルールを順守できない場合、ゼミナール除籍とすることがある。

◆ **成績評価方法**

- 3年次：指定された文献内容の理解やそれに基づく発表の内容、他の学生の発表内容に対するコメントや議論などを基に評価する。
- 4年次：学生自身の卒業論文執筆に向けた準備や執筆開始後の経過など、その都度発表した内容および他の学生の発表内容に対するコメント、他の学生との議論や完成した卒業論文を基に評価する。

研究分野…国際貿易に関わる諸要素に関する分析

募集人数…最大15名

試験方法…事前の身上書の提出 (オンライン提出)、試験当日の筆記試験および身上書に基づく面接試験

学科指定…無し

関連パッケージ…d 国際経済系、e 財政・金融系、f 総合政策系

関連科目…国際経済政策、国際金融論、開発経済学、金融論、金融政策、現代経済政策

◆ ゼミナールの研究テーマ

グローバル化、TPP、米中貿易摩擦などの国際経済の現状分析

◆ 研究内容

<外国書研究>

OECD が毎年発行している *Economic Outlook*、*Japan Economic Survey*、*United States Economic Survey* を通じて、国際経済、日本経済や米国経済について理解を深める。また、時事問題についても、随時経済雑誌の記事を利用して学んでいく。

<卒業論文・3年次>

前期

国際経済全般に関する基本的知識の理解に努める。

テキスト：掠覧『自由貿易はなぜ必要なのか』有斐閣

グローバル化に焦点を絞り、その現状分析や対外政策について学ぶ。

後期

政経セミナーへの論文作成、ゼミナール発表会でのプレゼンテーション、MEPS への論文作成と討論会に向けて、ゼミ員が協働で進めていく。

<卒論論文・4年次>

卒業論文に向けて各自が選んだテーマについて発表を行い、ゼミ員相互に議論し合う。

<卒業論文例>

「グローバル化の光と影」

「米中貿易摩擦が世界経済に与える影響」

「TPP の経済効果について」

◆ 応募学生に対する希望

意欲と自主性のある学生を希望する。

◆ 成績評価方法

卒業論文：演習への貢献度・発表・卒業論文などで総合評価

外国書研究Ⅰ：演習への貢献度・レポート・発表などで総合評価

外国書研究Ⅱ：演習への貢献度・レポート・発表などで総合評価

研究分野…グローバル化、米中貿易摩擦についての分析

募集人数…10～15名

試験方法…レポート、面接（特に面接を重視する）

学科指定…なし

関連パッケージ…d 国際経済系、e 財政・金融系、f 総合経済政策系

関連科目…国際経済学、開発経済学、国際金融論

◆ **ゼミナールの研究テーマ**

「食と農をローカルにつなぐ」をテーマに、世界的な食料問題とローカルな食農連携の双方を視野に収めながら、食と農の新しい「かたち (=デザイン)」を研究する。

◆ **研究内容**

<外国書研究>

「食と農」をめぐる最新事情を学びながら、問題が発生するメカニズムについて考える。

<卒業論文・3年次>

問いを立てること、考えること、対話すること、書くこと、伝えることを基本からトレーニングする。その上で、食農連携の現場（食品企業や農業・農村等）でフィールドワークし、現場で／から考える習慣を身につける。各人が理論（ゼミ）と実践（現場）の往還サイクルのなかで、自分の問いを考え抜く基盤をつくるのが3年次ゼミの目標である。

また地域づくりの実践者や国内外の企業人を交えた「地域デザインゼミ」や農村・農業コミュニティでのゼミ合宿（海外のフィールドにもいきたい）という学びの場ももちたい。

<卒業論文・4年次>

「問い」を立て、探究する。研究のステップ——「問い」の設定、フィールド（現場）研究、資料・データの収集と分析、考察とまとめ——に応じて報告と討論を行う。

<卒業論文例>

2020年度より開講された新しいゼミ。食と農、コミュニティ、デザインと何らかの形で接点があれば、テーマ設定とアプローチは自由である。テーマを決める（自分の問い／学問的な問い／実践的な問いの重なりを設定する）ことが難しい。容易に答えの出ないことに向かって、問い続けてほしい。

◆ **応募学生に対する希望**

食べるのが好きな人。ゼミナールでの学びを深めながら、それぞれの「ライフデザイン」と「キャリアデザイン」を描いてほしい。世界の見通しがきかなくなることもある。じっくりとよいものをつくる、落ち着いて、丁寧に物事を考える、なかなか難しいけれど、そういうふうになってほしい。

ゼミの出席は前提。地域デザインゼミやゼミ合宿を含め、無断で欠席することは認めない。

◆ **成績評価方法**

卒業論文：報告内容と毎回のゼミへの参加と貢献、卒業論文のオリジナリティと完成度

外国書研究Ⅰ・Ⅱ：十分な予習と報告内容、毎回のゼミへの参加と貢献

研究分野…「食と農の地域自給圏」構築のための食料経済学研究、地域づくり、フィールドワーク

募集人数…10名前後

試験方法…身上書と面接（応募人数に応じて追加の課題がでる場合がある）

学科指定…無し

関連パッケージ… f. 総合経済政策系パッケージ i. 産業社会系パッケージ

関連科目…食料経済学（春学期）は必ず履修すること。協同組合学を併せて履修するとよい。

◆ ゼミナールの研究テーマ

経済発展と経済開発——グローバル経済の下でのイノベーション、キャッチアップ、貧困——

◆ 研究内容

Economic development（経済発展・開発）について、開発経済学、経済発展論、イノベーション論、キャッチアップ論、アジア経済論、シュンペーター学派、進化経済学などの観点から研究を行う。本ゼミナールでは、途上国だけに焦点を当てた狭義の開発経済学（Development Economics）だけでなく、先進国・途上国を含む様々な国々に焦点を当てた広義の経済発展（Economic Development）について研究する。なぜなら、先進国がどのように発展したかを理解することなく、途上国の経済発展を理解することは出来ないためである。経済発展というのは、アダム・スミスの『国富論』にみられるように経済学の本流・骨格をなすものであり、その意味で、本ゼミで研究する経済発展（Economic Development; Development Economics）は、最も幅広い知識を必要とする学問でもある。本ゼミでは、特に、理論的考察力、データ分析力、独創力の向上に力を置く。なお、担当教員の研究内容の詳細については、<http://gyosekil.mind.meiji.ac.jp> を参照のこと。また、本ゼミは、MEPS（経済政策関連ゼミの討論会）やISFJ（日本政策学生会議）にも参加する。なお、海外でのゼミ合宿は任意とする。

<開発経済学>

経済発展・開発に関する講義を行う。ゼミ生は必修。

<外国書研究>

ゼミ生と協議の上、内容を決定する。外書を参考にしつつ Stata を用いた計量分析も行う。

<卒論・3年次>

3年次は各班に分かれ、特定のテーマについて論文を執筆し、『政経セミナー』に投稿する。

<卒論・4年次>

3年次の研究をベースに、個人研究を行い、卒業論文をまとめる。

<卒業論文例>

「大分岐とその後の日本社会」、「中国の金融業の発展を通じた経済成長」、「珠江デルタの所得向上・都市化・産業発展に関する研究」、「フィリピンのスラム改善——セブ島のスラムでの体験を終えて」、「ベトナム自動車産業のゆくえ——EV 政策によるキャッチアップを目指して」、「カンボジアの持続的経済発展——FDI 誘致による新たな産業基盤の育成」、「ネパールの持続的成長のための提言」、「教育と持続的経済成長——タンザニアにおける教育問題」、「アフリカにおける農村電化の方法とその導入に向けて」など

◆ 応募学生に対する希望

積極性と向上心に富んだイノベティブで協調性あふれる学生を希望する。また、本ゼミは、学生主体のゼミのため、主体的かつ積極的に取り組める学生が望ましい。本ゼミは、研究に重点を置くゼミであるが、文部科学省の提唱する学士力だけでなく、経済産業省の提唱する社会人基礎力の向上にも力を置く（過去には経済産業省主催社会人基礎力育成グランプリ受賞）。また、海外留学を推奨するとともに、留学生の受入れも積極的に行っている。なお、就職に有利だからという理由だけでゼミに入りたいという学生はお断りする。当然のことであるが、遅刻や無断欠席は厳禁である。

◆ 成績評価方法

演習への取り組み（課題・発表など）、演習への貢献度など

研究分野…開発経済学、経済発展論、イノベーション論、キャッチアップ論、進化経済学

募集人数…10名前後

試験方法…事前課題と面接

学科指定…なし

関連パッケージ…国際経済系

関連科目…マクロ経済学、ミクロ経済学、経済政策原理、現代経済政策、国際経済学、国際経済政策、計量経済学

## ◆ ゼミナールの研究テーマ

各国の税・財政制度

## ◆ 研究内容

## ＜外国書研究＞

前期は Rosen 著 Public Finance の租税理論に関する箇所を中心に輪読してゆく。租税理論についての体系的な知識を得た後に、後期には Slemrod, J and J.Bakija 著 Taxing Ourselves-A Citizen's Guide to the Great Debate over Tax Reform- の重要箇所について輪読する。諸外国における税制改革に関する議論について理解を深め、社会および経済的環境の変化を踏まえた今後の日本の税制改革はいかなるものであるべきか、受講者との議論を通じて展望してゆく。

## ＜卒業論文・3年次＞

春学期は財政学・租税論についての基礎知識を得ることを目標とする。財政学、租税論、地方財政について基本的なテーマをいくつか設定するので、小グループに分かれ、それぞれのテーマについて報告してもらい、それを題材に全員で議論する。報告の際には、Power Point などを用いて効果的なプレゼンテーションをするよう心懸けて欲しい。また、政経セミナー等の投稿のための準備も行っていく。

秋学期は、卒業論文の執筆に向けて、各自テーマを設定して報告をしてもらう。報告に対する討議のなかで、論文執筆のスキルを高めるとともに、問題意識をさらに深めていって欲しい。3年次までに、卒業論文が4割程度完成していることを目指す。

尚、春夏の長期休暇中には、ゼミ合宿を兼ねて地方自治体の財政調査を行う予定である。これまでに岩見沢市・名古屋市・沖縄県などの調査およびゼミ合宿を行った

## ＜卒業論文・4年次＞

3年次までの成果を踏まえ、数度の発表と討議を経て、論文の質を高めてゆく。なお12月に他ゼミと合同で卒業論文発表の合宿を行う予定である。

## ＜卒業論文例＞

「地方消費税の再考－カナダの Dual VAT を参考として－」

「北欧諸国の地方分権」

「相続税の国際比較研究」

「電子商取引の課税問題」

## ◆ 応募学生に対する希望

熱意を持って研究に取り組み、何事にも積極性のある学生の応募を期待する。新しいゼミの歴史を築き、そして良き伝統を継承しようとする気持ちを持っていて欲しい。

## ◆ 成績評価方法

卒業論文：平常点（演習への貢献度・報告・論文 etc）

外国書研究Ⅰ：平常点（演習への貢献度・報告 etc）

外国書研究Ⅱ：平常点（演習への貢献度・報告 etc）

研究分野…財政学・租税論・地方財政論

募集人数…15名程度

試験方法…身上書及び面接（方法は未定）により評価する。

学科指定…なし

関連パッケージ…e 財政・金融系、f 総合経済政策系、g 公行政系

関連科目…財政政策、地方財政論、社会保障論、自治体経営論 など

◆ **ゼミナールの研究テーマ**

公共経済学やこれに関連する分野（人口問題・社会保障・財政・労働市場等）の実証分析と政策論文の作成

◆ **研究内容**

このゼミでは、経済社会の政策課題を理論面及び実証面からアプローチする方法を学ぶとともに、その課題の解決に寄与する政策提言等を行ないます。3年次には大学外部で主催される政策提言論文のコンテスト（ISFJ、日本政策学生会議）に応募するとともに、他学部や他大学のゼミとの研究交流を通じて、実証的な研究姿勢を学び、課題解決型の論理構築や発表方法を身につけることを目指します。

そのために、このゼミでは経済学の基本的な思考法の理解、現実経済社会の課題の把握、及び実証分析の基本的な手法を学ぶこととなります。

同時に、ゼミの方針として海外の留学生をできる限り受入れるとともに、グローバルな視点の醸成にも力を入れています。短期・長期での海外留学を目指す学生を積極的に受入れたいと考えています。

< **外国書研究** >

欧米諸国で評価の高い経済学の入門的なテキストなどを用いて、その内容に関するディスカッションを行ないます。なお、海外提携校などからの交換留学生と一緒に学ぶため、外書研究はすべて英語でのコミュニケーションとなります。2023年度の授業は、Miller, Benjamin, and Douglass (2018), *The Economics of Public Issues, 20<sup>th</sup>ed.*, Pearson.などを使用し、各章のテーマに関するプレゼンテーションとディスカッションを行なっています。

< **卒論・3年次** >

3年次の目標は、さまざまな政策課題を理解するために必要な公共経済学の基礎、政策分析に欠かせない実証分析の手法の修得にあります。前述したように政策提言論文コンテストへの出場を前提にゼミを運営しますので、そのために必要な現実の政策課題の把握や実践的なデータ分析の手法が不可欠になるからです。加えて、他学部や他大学のゼミとの交流も積極的に行ないます。

< **卒論・4年次** >

3年次の1月以降、各自の問題意識をもとに卒業論文のテーマを設定し、これに関連する文献等の研究を行ないます。卒業論文は基本的に実証分析を必要条件としています。加えて、近年の経済社会事情などに関する文献の輪読も行ないます。

< **卒業論文例** >

これまでの卒業論文のタイトルは、「合計特殊出生率のシミュレーション分析」「人口減少が経済成長に与える影響について」「日本型雇用システムについての現状分析」「ソーシャル・キャピタルの形成要因に関する実証分析」「離婚率と労働環境の関係」「地域間教育格差の要因分析」「投票行動の分析」「持続可能な医療保険制度を目指して」「英語力向上の決定要因」「社会的排除と生活困窮者の就労支援」「ふるさと納税制度に関する実証分析と課題について」などです。研究対象はそれぞれの学生の興味と関心にしたがって柔軟に設定します。

◆ **応募学生に対する希望**

ゼミでは、学ぶことの楽しさと厳しさを経験できる場所だと考えています。ゼミでは、“教える”、“教わる”のではなく、“一緒に学び、議論する”ことを大事にしたいと思います。このゼミの歴史と一緒に築いてくれる、協調性と責任感、主体性（と体力）のある学生を望みます。学びたい気持ちを持つ学生を決して後悔させないことが、このゼミの方針でもあります。

ゼミではISFJへの参加など実証的な視点から政策研究に力を置いています。こうしたことに興味を持つ学生の皆さんの応募を待っています。

グローバル化もゼミの方針です。そのため、海外への留学についても積極的に応援します。また、海外からの交換留学生とのゼミ内外での交流も多いので、英語を通じて積極的にコミュニケーションを行う学生に入室してもらいたいと考えています。

成績評価…ゼミにおける報告や共同論文作成への貢献度などから成績を評価します。

研究分野…公共経済分野等に関する実証分析・政策提言

募集人員…10～12名程度

試験方法…身上書及び面接による選考

学科・コース指定…なし

関連パッケージ…総合経済政策系パッケージ、財政・金融系パッケージ

関連科目…労働経済学、財政政策、応用数量分析

## ◆ ゼミナールの研究テーマ

労働経済学やその周辺分野（教育、医療、家族やジェンダー等）に関する実証分析。

## ◆ 研究内容

日本や諸外国の労働市場で起こっている事象のメカニズムを経済理論を用いて考えるとともに、統計データを丁寧に調べたり、実際にデータ分析を行うことで、エビデンスベースで労働市場に対する理解を深めます。また、知識の習得だけでなく、毎回のゼミへの参加や卒業論文の執筆を通じて、「読む」・「分析する」・「論理的に考える」・「伝える」スキルを獲得することも本ゼミナールの目標です。なお、ゼミ合宿等の活動については参加者と相談しながら決めていきます。

## &lt;外国書研究&gt;

Blau and Winkler, *The Economics of Women, Men, and Work* (9th edition) 等の労働経済学の基礎的なテキストを輪読します。毎回の授業では、レポーターの発表に基づいて、全員でディスカッションを行います。

## &lt;卒業論文・3年次&gt;

テキストの輪読とディスカッション、プレゼンの練習を行いながら、卒論のテーマを考えます。また、計量経済学に基づいた実証分析が行えるようデータ分析の手法や統計パッケージの使い方も学びます。政経セミナーへの投稿も予定しています。

## &lt;卒業論文・4年次&gt;

3年次に考えた卒論のテーマに基づいて、各自、卒論の執筆を進めます。毎回のゼミでは、定期的に卒論の中間発表を行い、卒業論文の完成を目指します。

## &lt;卒業論文例&gt;

本ゼミナールは2022年度から始まった新しいゼミで、まだ4年生は卒論執筆中のため他大学で指導した学生の卒業論文になりますが、「テレワークの利用規定要因と効果に関する分析」、「育児休業制度の利用が女性の仕事やキャリアに与える影響についての分析」、「人材を定着させるための人事管理制度に関する研究」、「なぜ女子は理系学部に進学しないのか」、「副業の規定要因と本業や生活に与える影響に関する分析」、「産科医療の危機的現状」、「日本の長時間労働が労働生産性に及ぼす影響に関する研究」等があります。

## ◆ 応募学生に対する希望

毎回のゼミは、レポーターによる報告と全員参加のディスカッションが中心になります。また、ゼミ生の自主性、会話を通じた相互理解を大事にします。よって、ゼミの活動に積極的に参加する意思のある学生及び入室後にゼミでのルールを守れる学生を希望します。

## ◆ 成績評価方法

卒論：演習での発表、ディスカッションへの参加、卒業論文の完成度で総合的に評価。  
原典研究Ⅰ・Ⅱ：口頭発表や授業への貢献、ディスカッションへの参加で総合的に評価。

研究分野…労働経済学やその関連分野に関する実証分析

募集人員…12名程度

試験方法…エントリーシートおよび面接

学科指定…無し

関連パッケージ… f 総合経済政策系

関連科目…労働経済学、ミクロ経済学、計量経済学